



Interview with Ally Course students



浮田真琴さん

酪農学園大学 大学院 獣医学研究科 D3

うきた まこと

現在、どんな研究をしていますか？

Ally courseで最も印象に残ったことは？

日本の養豚場における豚熱発生を制御する方法を探るため、農場での効果的なワクチン接種や衛生対策の検討、生産者の衛生対策に対する動機づけ方法について研究しています。

サブモジュール4でモンゴルでの食品媒介性疾病調査に参加したことです。国際協力現場への訪問やフィールド調査は貴重な経験となりました。

Ally courseに参加しようと思ったのはなぜですか？

Ally course受講は、今後の研究にどのように役立つと思いますか？

様々な分野の先生方や国際機関で働く先生方の講義に参加できること、海外での実践的な調査研究の体験することができることに魅力を感じたからです。

異分野連携や俯瞰することで、その国や地域に合わせた解決策を見出し、課題解決に取り組んでいく力がついたと思います。

これからAlly course参加を考えている学生へアドバイスをお願いします！

Ally courseへの参加は、大学院生同士でのグループワークや国際経験を積むことができる絶好の機会です。参加することをおすすめします。

浮田さん、ありがとうございました！ますますのご活躍を期待しています！